

Tennis House

September 9  
2015

fun

Introduction of Staff  
#20

Shota Yamamoto

ストローク全盛の時代に  
ボレーヤーを貫く



## コーチングスタッフ 山本 翔太

1991年11月13日 さいたま市出身

左利きから繰り出されるキレのあるスライスサーブと、天性のボレーセンスを併せ持つダブルスのスペシャリスト。さらに俊敏な動きも持ち味とし、ジュニア時代から県内の同世代ではトップを走り続けている。

### はじめに

今回は山本コーチをご紹介します。今回は山本コーチをご紹介します。今秋より新しくテニスハウスファンのスタッフに加わる事が決定致しました！山本コーチはテニスが上手いのはもちろんですが、困った時にいつも助けてくれるやさしい心を持ち合わせた、人柄にも優れたコーチです。レッスンの定評も良く、特にジュニア時代から育った経験を活かしたレッスン内容には、多くの支持を頂いております。テニスハウスファンに、また新たな風を起こしてくれる事を期待し、今回ご紹介させて頂く事と致しました。春日部校・八潮校をフットワーク軽く駆け回りますので、皆様山本コーチを宜しくお願い致します。

春日部校 店長 関大輔

### テニスとの出会い

僕がテニスを始めたのは両親がサークルでテニスをしていて、物心ついたころからよくテニスに連

れて行かれていたのがきっかけです。そのサークルで色々な人が打ち方を教えてくれて、とても楽しかった思い出があります。現在もたまに、親やサークルの方々と一緒にテニスをするのですが、ゲームで勝つ度に自分の小さいころの恥ずかしいエピソードを持ち出され、仕返しをされたりします。とても楽しい時間なのですが、恥ずかしいエピソードを暴露されるたびに、このような大人にはならないように気をつけようと心に思っています！(笑)年齢の枠を超えて楽しめるテニスと出会うきっかけをくれた両親には感謝しています。

### テニス歴

そんな形でテニスを始めて、中学生のころからジュニアの試合に出始めました。高校へ進学後はテニス部に入って、高体連やジュニアの試合へ出場していました。その後、大学時代に始めたアルバイト先で、白石コーチや金子コーチと出会い、練習

をしてもらいうちに、日本ランキングの取れるJOPトーナメントに出場しようと思うようになり、現在は全日本選手権出場を目指して試合を回っています。

## 練習方法

練習では、練習メニューの後半にもうひとがんばりできるように工夫をしています。もちろんどんな試合でも負けると悔しいですが、やはり競った試合で負けるのが1番悔しいと思います。試合の終盤で相手よりも良いプレーをするためには、やはり持久力とメンタルの強さだと思います。普段の練習でどれだけ自分を追い込めるか、疲れてきたところでどれだけ頑張ることが出来るかが、競った試合の大事な場面での差になると思うので、そこを大事にすることを意識しています！もちろん辛いです、それを乗り切った時の快感もまた、たまらなく心地よいですよ！

## 試合中の意識

今現在、試合中に気を付けている事は、焦ったり疲れてきたときのプレーです。どうしても楽にポイントを取ろうとしてしまい、速いボールを打つだけの単調なテニスになって自滅してしまうことが多いです。落ち着いてプレーする気持ちのコントロールをもつと出来るようにすることが必要ですが、それだけでなく、焦った時や疲れた時に、緩急をしっかりとつけたプレーをするように意識しています。試合後に同じようなアドバイスをいただくので、まだまだ意識が足りていないと思いますが、良いプレーも出てきているので、さらに良いプレーが増えるようにがんばります！

## プレースタイル

ボレーが1番得意なショットなので、ダブルスでは積極的に前に出てボレー合戦に持ち込みます！シングルスでは、ストローク全盛期の今のトーナメントでは、パスを抜かれてしまうことが多いのですが、それでも得意なボレー

で戦っていけるように色々な展開力を身に付けて行きたいと思います。ボレーを中心にしたスタイルで頑張ります！

## 皆様へ

皆さまはじめまして！山本翔太と申します。左利きのテニスが苦手という方もそうでない方もぜひ私のレッスンに遊びにきてください！今後もレッスンも試合も精一杯がんばっていきまので、応援をぜひよろしくお願いします。



Tennis House

*fun*<sup>®</sup>  
テニスハウスファン